

科目名 Course Name	人間関係とコミュニケーション I Human Relations and Communication I			ナンバリング No.	J1-002		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	片桐 幸司						
連絡方法	C-Learning に対応。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2,DP3,DP4						
授業の概要と到達目標	<p>「人間関係とコミュニケーション I」では、介護実践のために必要となる人間の理解や人間関係形成の意義・概要について学習する。また、自分を理解すること、他者を理解することの重要性を理解し、他者とのコミュニケーションに必要な基礎的能力を習得する。</p> <p>①人間関係形成における自己覚知・他者理解の意味と必要性について説明できるようにする。 ②コミュニケーションの種類について説明できるようにする。 ③対面コミュニケーションのパターンについて説明でき、留意点を列挙できるようにする。 ④傾聴、受容、共感の重要性とその要点について、説明できるようにする。 ⑤コミュニケーション技法を列挙し、その内容について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義科目であるが、自己理解・他者理解のために、グループ演習を多く取り入れる。また、コミュニケーション技法についても、ロールプレイやグループ演習を通し、基礎的能力を習得できるようにし、実際のコミュニケーションに活かせるようにする。グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。						
学習成果	L01						
	L02	自己覚知の姿勢を持って、自分が考える自己の傾向と他者から見た自己との相違について考え、述べることができる。					
	L03	円滑なコミュニケーションを図るための基礎的知識・技術を習得し、場面や相手に応じたコミュニケーションを図ることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第1巻「人間の理解」第2版 中央法規出版 授業中配布する資料						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:障害者支援施設生活支援員(身体・知的) 職歴:6年) 実務経験(職種:特別養護老人ホーム介護職員 職歴10年) 実務経験(職種:特別養護老人ホーム施設長 職歴6年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。		20		
レポート/作品	演習内容について自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿って、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	科目内で学んだ内容のうち、講義演習内で告知する内容の理解を定期試験で評価する。講義内で特に教示した内容を確認する。			60	

その他				
合 計			40	60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業概要と進め方・成績評価の方法など) 自己紹介カードの作成とコミュニケーションゲーム【演習】
	事前・事後学習	コミュニケーションについてテキストを参照にしてノートにまとめること。
2	授業内容	人間関係とコミュニケーション① コミュニケーションの概念、基本構造、手段
	事前・事後学習	テキスト p122～p140 を読み、言語的・非言語的コミュニケーションを確認しておく。
3	授業内容	人間関係とコミュニケーション② コミュニケーション・トレーニング 1 【演習】「伝達トレーニング」言語的コミュニケーションでメッセージを伝えてみる
	事前・事後学習	テキスト p128～p131 の「言語的コミュニケーション」の意味を再確認しておくこと。 介護福祉用語辞典で「言語的コミュニケーション」を確認しておくこと。
4	授業内容	人間関係とコミュニケーション③ コミュニケーション・トレーニング 2 【演習】「あ行トーク」構音障害の体験 母音でメッセージを伝えてみる
	事前・事後学習	介護福祉用語辞典で「構音障害」を調べて、意味を整理しておくこと。
5	授業内容	人間関係とコミュニケーション④ 人間と人間関係 1 人間の誕生と介護の関係 自分と他者の違いとその理解
	事前・事後学習	テキスト p80～p94 を読み、人間のコミュニケーションの過程を確認しておくこと。
6	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑤ 人間と人間関係 2 発達心理学からみた人間関係 社会心理学からみた人間関係 人間関係とストレス
	事前・事後学習	テキスト p95～p120 を読み、心理学からみた人間関係について確認しておくこと。
7	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑥ コミュニケーション・トレーニング 3 【演習】「あなたは素敵な人ですよ」非言語的コミュニケーションを体験する
	事前・事後学習	テキスト p131～p140 の「非言語的コミュニケーション」の意味を再確認しておくこと。 介護福祉用語辞典で「非言語的コミュニケーション」を確認しておくこと。
8	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑦ コミュニケーション・トレーニング 4 【演習】「敬語で会話してみよう」敬語の意味と役割、使い方を学習する
	事前・事後学習	「敬語で会話する」、「誤解を生む敬語」はどのようなことかを整理しておくこと。
9	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑧ 対人関係とコミュニケーション 1 対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション 対人関係における基本姿勢
	事前・事後学習	テキスト p142～p152 を読み、対人関係における基本姿勢を確認しておくこと。
10	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑨ 対人関係とコミュニケーション 2 対人的人間関係の形成 バイステックの7つの原則
	事前・事後学習	テキスト p153～p161 を読み、「バイステックの7つの原則」を確認しておくこと。 介護福祉用語辞典で「バイステックの7つの原則」を確認しておくこと。
11	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑩ コミュニケーション・トレーニング 5 【演習】「この人の感情はなんでしょう？」相手の表情からメッセージを読み取る
	事前・事後学習	自身が無意識にしている態度や表情を意識して、自身が他者に与える印象を確認しておく。
12	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑪ コミュニケーション・トレーニング 6 【演習】「アクティブ・リスニング」「聞く」と「聴く」の違いを体験する
	事前・事後学習	テキスト p151～p153 を読み、「傾聴」とは何かを確認しておくこと。 介護福祉用語辞典で「傾聴」を確認しておくこと。
13	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑫ 組織におけるコミュニケーション 組織で求められるコミュニケーションとその特徴 組織における情報の流れ
	事前・事後学習	テキスト p163～p175 を読み、組織内コミュニケーションについて確認しておくこと。

14	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑬ コミュニケーション・トレーニング 7 【演習】「ブレインストーミング」ブレインストーミングを用いた討議を体験する
	事前・事後学習	テキスト p171～172 を読み、「ブレインストーミング」とは何か、および「ブレインストーミングの4原則」を確認しておくこと。
15	授業内容	人間関係とコミュニケーション⑬ コミュニケーション・トレーニング 8 【演習】「どのリーダーが優れているか」対人援助とリーダーシップを考える
	事前・事後学習	テキスト p213 を読み、「リーダーシップ」とはどのようなことかを確認しておくこと。